

# 令和 2 年度学校関係者評価 報告書

2021 年 4 月 5 日

専門学校日本デザイナー芸術学院

評価期間

自：令和 2 年 4 月 1 日

至：令和 3 年 3 月 31 日

## 2021 年度関係者会議議事録

- ・開催日時：2021 年 4 月 3 日（土）14：00~15：30
- ・開催場所：204 教室 [敬道学園校舎 2 階]
- ・配布資料：自己評価報告書（日本デザイナー芸術学院／日本マンガ芸術学院）
- ・内容：2020 年度敬道学園の自己点検結果に基づく総括等

### 【出席者】

- （業界関係者）池内 裕史 [株式会社 J S コーポレーション中部支社支社長]
- （教育関係者）伊丹 賢太郎 [愛知県認可 愛知県芸術高等専修学校 教務主幹]
- （卒業生代表）笠井 美希 [株式会社 寺 グラフィックデザイナー]
- （教育関係者）鈴木 貴之 [日本語学校 I.C.NAGOYA 校長]
- （業界関係者）山本 武司 [株式会社クイントエッセンシャル 代表取締役]

### 学園事務局

- 成 光雄 (学校法人敬道学園 学校長)
- 牧野 健介 (学校法人敬道学園 理事長)
- 山内 雄司 (学校法人敬道学園 教務課教務長)
- 下雅意 善規 (学校法人敬道学園 教務課所属)
- 石川 優子 (学校法人敬道学園 教務課所属)
- 小原 桃子 (学校法人敬道学園 教務課所属)

進行／牧野 健介

記録／大倉 理子

- ・開会
- ・校長挨拶
- ・評価委員紹介
- ・議事概要の説明 [10 分]
- ・コロナ禍においての学校の現況について

<議題> 【点検項目の自己評価結果報告】

- ・2020年より映像デザインコース開始。

大がかりな機材ではなくノートパソコンや一眼レフを使用。

○各学科の教育活動・教育成果の報告 [20分]

□日本デザイナー芸術学院

- ・ビジュアルデザイン学科の活動・結果報告（山内・石川・小原）

[グラフィックデザイン/イラストデザイン/アートデザイン/映像デザイン/キャラクターデザイン]

○受賞実績等

●「第11回ポスターグランプリ」グラフィックデザインコース

- ・愛知県教育委員会賞 GRs1 中田 あかり（市工芸）
- ・岐阜県印刷工業組合理事長賞 GR2 眞境名 遼七（津島北）
- ・イトーテック(株)賞 GR2 土谷 英里佳（市工芸）
- ・富士ゼロックス(株)賞 GR2 前田 香波（土佐女子）
- ・セントラル画材(株)賞 GRs1 田中 理彩（東邦）

●「日本タイポグラフィ年鑑 2021」

- ・GRs1 吉田 詩音（岐阜県立 加納高校）

→学校外の自主的な全国区のコンペ。3年制の強みである、空いた時間を自分の創作活動に充てる動きが上手く機能した結果。

●「中部クリエイターズクラブポスターコンペティション 2021」

- ・グランプリ GRs1 吉田 詩音（岐阜県立 加納高校）

○産学協同

株式会社バッファロー、セントラル画材株式会社、中一建設工業株式会社、農業個人経営(みかん)

→イラストを使用した広告の依頼を受けた。

□日本マンガ芸術学院

- ・メディアアート学科の活動・成果報告（山内・下雅意）

[マンガ/コミックイラスト/小説クリエイト/声優タレント]

○受賞実績等

・白山琴音／ペンネーム：白乃コトリ

デザート（講談社）2020年3月号

第256回 デザート・デビュー・ドリーム「甘い太陽」Aクラス評価（1万円 + 副賞）

・館石まりん／ペンネーム：依栞莉

デザート（講談社）2020年3月号

第256回 デザート・デビュー・ドリーム「美味しいが聞きたくて」Aクラス評価（1万円 + 副賞）

・「キャラクターイラストレーショングランプリ 2019.2020」2年連続グランプリ

コミックイラストコース 坂田七海

→名古屋校と仙台校の学内コンペ。

・声優タレントコース実績

■学院内オーディション実施企業（19社）

EARLY WING／アクセント附属養成所シャイン／アトミックモンキー／81 プロデュース  
／ガジェットリンク／ケッケコーポレーション／賢プロダクション／C&Oプロダクション  
／JTB Next Creation / ジャスト・プロ／松濤アクターズギムナジウム／スター・ダス 21  
／パワー・ライズ／ブックスロープ／プロダクション・エース／プロダクション東京ドラマ  
ハウス／宝映テレビプロダクション／ゆーりんプロ／ワイスプロダクション（50音順）

→毎年20社以上のプロダクションが来校、学内オーディションを行う。今年はコロナの影響もあり19社。

■声優タレントコース9期2年課程（7名）の卒業後の進路

→本コースは就職ではなくプロダクションへの所属が目標。

▼業界デビュー希望者（5名中、5名が進路決定）

・賢プロダクション（養成所生）／2名

・JTB Next Creation（養成所生）

・ケッケコーポレーション（養成所生）

・ガジェットリンク（預かり所属）

▼就職希望者（2名）／現在、就職活動中

→業界に進まなかった学生の一般就職のフォローに力を入れている。

■産学協同出演実績

・ぎふチャン ラジオ番組「若井友希のアニラジ☆ステーションやお！」

（毎週土曜23時ON AIR） レギュラー出演

→小説クリエイトコースと合同制作。7年間放送続くも2021年3月に放送終了。

- ・MID-FM ラジオ番組「ニチマ de レディオ・ショー」(毎週日曜17時 ON AIR)  
レギュラー出演

→現場での対応力の強化のため。

#### □研修授業 (全学科共通)

- ・「犬山城下町/明治村研修」/2020年11月23日(月)~25日(水)
- ・「ピクサーのひみつ展」/2021年2月4(木)・5(金)・9日(火)
- ・「養老天命反転地」/2021年2月5日(金)

→コロナの影響で海外研修なし。

コロナの影響により新幹線ではなくバスを数台借りて3日間の実施。希望者のみの参加。  
本来は東京で行うが、愛知県近郊で調整。

#### ○こども芸術学科の活動・成果報告 [保育]: 牧野

- ・2017年開設。元々豊岡短期大学と連携で学習サポートをしていたが、ニチデが2019年より愛知県から認定を受け保育コースができる。

→全学生保育士免許取得。

・社会人も入りやすい学科を目指す。当初は7割社会人だったが、今年度の入学者は16名中10名高校生で割合が逆転。保育の学科になることでガイダンス・高校訪問の参加も認められるように。

- ・他の保育専門学校とは違う形でアプローチ

→2021年の取り組み: アートプログラム→遊びの仕方、発声の仕方、パソコンの利用方法を学ぶことで次世代の子供育成を図る。

#### ○学生支援について報告 (就職支援、奨学金など生活支援): 山内 [10分]

##### □内定実績

- ・株式会社サイゲームスピクチャーズ/株式会社ハイド/株式会社 DCG Entertainment/  
株式会社テレコム・アニメーションフィルム 他

アニメーション部門

株式会社ハイド 連続就職

→株式会社テレコム・アニメーションフィルム=アニメーションの背景イラストに携わる。

##### □学内企業説明会

- ・株式会社 Cygames/ゲーム会社 (日本デザイナー芸術学院 卒業生在職)
- ・株式会社 DCG Entertainment/ゲーム会社
- ・株式会社ハイド/ゲーム会社 (日本デザイナー芸術学院 卒業生在職)

- ・株式会社トムクリエイト／ゲーム会社
- ・一般企業 10 社（内定多数）

→過去採用実績のある企業のみ、学内にて企業説明会を実施。

□奨学金について

- ・従来の奨学金に加え、新給付型奨学金、授業料減免制度を利用
- ・学内にて奨学金説明会と手続きのサポートを実施
- ・学生の利用率／学内の約 3 割
- ・学費納入の際、授業料減免制度利用者それぞれに柔軟な対応

→2019 年から給付型奨学金利用増。コロナの影響で家計の収入が激減した学生のサポートのため、2020 年度に 1 名が授業料減免制度利用。

□学生面談について

- ・近年、悩みや問題を抱えた学生が増加傾向にある
  - ・学生生活を送る学生の悩み相談を実施
    - 多数の学生が持ち直しており、離脱を極力防いでいる
  - ・コロナの影響により新入生歓迎会がないため、クラスに溶け込めない生徒のケア
- 2021 年度も同様、力を入れる
- ・就職に不安を抱える学生のサポート

○コロナの影響についての報告・質疑応答：牧野

- ・入学式未実施
- ・授業開始を遅らせる
- ・リモート授業（6 月～通常授業（他学校はほぼ登校していない状況））
- ・夏休み・冬休みの短縮

→予定のカリキュラムは全実施完了。

各学校陽性者 1 名ずつ（家庭内感染・市中感染）

→ニチマで 1 日のみ授業停止。卒業・進級に影響なし。

□昨年 1 年間を通して実施したコロナ対策は？（牧野→伊丹）

- ・普通科目→1 年間映像授業
- ・芸術科目→6 月より通常授業
- ・毎日学生の検温
- ・学内感染を防ぐため消毒作業の徹底

□アテレコ等発声する授業実施について、保護者の声は？（牧野→伊丹）

→接触・飛沫のない授業から先行。保護者からのクレームが目立つものはなし。

□日本語学校でのコロナの影響は？（牧野→鈴木）

・4月以降海外からの入国ができない

→早い段階でコロナ感染発生。早期対策により二次感染なし。

・外国籍学生は体温計を持っていない学生が多い

→学校で検温・消毒作業

□デザイン・広告業界のコロナ禍における現状・今後の予測は？（牧野→山本）

・内定取り消しが多く発生。

・印刷系の企業、広告代理店で早期退職者を募る。→数人ではなく数十人・数百人

・オンライン・WEBの売り上げは伸びている。オンライン上で解決できるようシフトチェンジ。

・現在の広告代理店・印刷会社は80%~90%はオンライン系の仕事。

□印刷媒体の仕事の変化・減少した実感は？（牧野→笠井）

・元々WEB上の仕事がメインのため減った実感はない。

・新事業を始められる会社が増え、新ツールの作成の仕事が増えた

□学生時代を通じ、就職して必要だと思うカリキュラムは？（牧野→笠井）

・ニチデでは基礎・技術を磨く授業が多かったが、実際に就職後、デザインをする上でコミュニケーションを取ることが多い

→グループワーク授業の増加が必要

□進学業界全体に関してのコロナ禍の現状は？（牧野→池内）

・1年以上コロナ禍が続く疲弊した学生が多いが大学進学者が多かった

→しっかり努力した結果。今の努力が将来の報いになることを学生に伝えている。学生の希望をなくさないよう努めている。

□退学者の推移は？：牧野

・そもそも入国・入学ができないため、退学者はいなかった。（鈴木）

・15、16歳の学生は学校に行きたがっていた。保護者の心配により授業再開なかなかできなかった。（伊丹）

・毎年鬱病等の精神疾患を理由の退学者は一定数いる。今年ももともと思っていた学生がコロナ禍でリモート授業になり環境の変化により不登校になるケースはあった。それ以外の学生は基本的に授業の再開を待ち望んでいた。（石川）

○学生募集について報告：牧野

□入学者数について

ニチデ 125 名、ニチマ 58 名 計 183 名 (内留学生 4 名)

- ・前年度に比べ 35 名減少。日本人学生は増加。外国人生徒の減少によるもの。
- ・留学生の減少→日本語学校の学生減少に比例している。

□留学生について。留学後のギャップや授業の不満は？（牧野→鈴木）

・日本での生活についてヒアリングをした後で入学。専門学校での不満は日本語学校での対応が重要。どこの学校からどのような学生を募集しているのかしっかり調べたうえで進学を決める。

□進学を希望する留学生生徒にどのように指導したか？（牧野→鈴木）

・専門学校・大学の体験入学が減少したが、体験入学やオープンキャンパスへの参加は止めなかった。進学者が激減したわけではない。

□体験入学等募集活動においてのコロナ対策は？（牧野→伊丹）

・今年は通常通り行う予定。昨年 1 年間を通してどのような対策をすべきか把握したため、現在は元の学校形態に戻したいという思いの高校教師が多い。

○2021 年度からの教育活動・社会貢献・国際交流について：成

・1 年通してどうすべきか分かったことを踏まえ、正常通りに戻したい。慎重にしながらできることはできる限り行う。

- ・国際交流に関して海外研修は不可。コロナ禍だからこそできるアイデアを取り入れる。
- ・日本語を学びながらアートも学ぶ企画を進めていく。学生の安全確保を第一に考える。

□質疑応答、その他

特になし